

令和2年度 第2回台東区次世代育成支援地域協議会
小規模保育事業の認可及び利用定員に係る意見聴取票

No	委員名	意見	区からの回答	回答課
1	宇佐見 正人 委員	不足している保育必要数の一助になることを期待しています。	今後も、人口推移や保育需要を勘案しながら施設の整備を行い、引き続き待機児童の解消に取り組んでまいります。	児童保育課
2	桑原 裕美子 委員	区内に新しくマンションも建つことが多くなっていますので、数の充足も大事なことです。質の確認（確保）をどうするかも考えた方が良くと思います。	保育所の整備を進める一方で、保育の質を一定以上に確保していくことも重要であると考えております。保育所を誘致する際の事業者審査や各園共通のマニュアルの提供、指導検査でのチェックや福祉サービス第三者評価の結果を専用のHPで公表するなど、引き続き保育の質の確保に努めて参ります。	児童保育課
3	古屋 道明 委員	都内でも市部の保育園は定員を割っている園が多い。日本保育サービスも園を減少させている。少子化の中、待機児童解消だけに目が行き、無策に園を増加させると、5年後には区内でも定員割れ、株式会社の早期撤退が想定される。施設の使用を老人向けの施設に転換しやすいものにする等の対応をしないと税金の無駄になる。	今後の人口推移や保育需要等を勘案し、事業者を公募する際には需要に応じて適切な定員設定を行うなど、安定的かつ継続的な園運営がなされるよう、計画的な施設整備を行って参ります。	児童保育課
4	古屋 道明 委員	どのような児童育成を目的としているかが明確でない。とりあえず預かれればいいという考えは人材育成ではない。	区では、「保育所保育指針」に則して質の確保を図っており、区独自の幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」を策定し、共通の考えに立った教育・保育を推進しております。子供が豊かに育つ保育サービスを提供することにより、さらなる保育の質の向上に努めて参ります。	児童保育課

他委員は意見なし・了承の確認済み

報告事項意見票

No	委員名	報告資料NO.	意見	区からの回答	回答課
1	今西 みどり 委員	1	コロナにより食事提供は現在休止中で代替事業として各団体でお弁当配布とのことですが、行政としてお弁当やフードパントリー等食べるのに困る家庭を支援する計画はないのでしょうか？ マスコミ報道では、だいぶ困っている家庭が多いと言われていますが、行政として具体的に食事に困っている家庭等を把握しているのでしょうか？補助金を出すことで解決していれば良いですが解決したか否かの答えは出ているのでしょうか？	区では、今年度新型コロナウイルス感染症の影響を受け、団体が実施するお弁当の配布事業に対し、補助を行っています。また、フードパントリー実施団体とも連携し、区が把握した必要な方に対し、支援内容の紹介等を行っております。 食事に困っている家庭等については、各家庭のその時その時の状況もあるため、区だけですべての困窮家庭の把握や困窮の問題が解決したと結論づけることは難しいと考えております。引き続き、情報の把握に努め、民間団体等と協力しながら、課題の解決に向けて取り組んで参ります。	子育て・若者支援課
2	古屋 道明 委員	4	子ども家庭支援センターのスタッフに専門性が欠ける。区にも児童相談所の設置を希望する。	職員には、研修受講やケース対応について専門家から定期的に助言を受けることで、資質の向上を図っておりますが、子供と家庭の相談は、家庭ごとに適切かつ迅速な対応が必要となりますので、不足している専門性については事例検討等を継続し専門性を高めてまいります。 なお、児童相談所については、本区の特性を踏まえ、子供たちにとって必要な区児相はどのようなものかという観点で、設置に向けて検討しています。	子ども家庭支援センター
3	宇佐見 正人 委員	5	新規事業になるかと思えます。養育を必要とする児童への支援を是非ともお願いします。又、ホームページや区報などでの告知や事業内容の情報提供の体制作りを希望します。	本事業は、児童相談所の病院への一時保護委託が病院の逼迫状況によりできない場合のセイフティーネットとして新規で実施します。 そのため、ホームページ等で事業の周知を行わず、対象となる方には、様々な関係機関と調整の上、個別に対応させていただきます。	子ども家庭支援センター
4	今西 みどり 委員	9	対象施設・事業に対し一律50万円の支給だが、各施設・事業の大小は考えなくて良いですか？	本事業は、都の補助事業であり、都の補助要綱が一律50万円のため、区の補助額も都の補助要綱に即して実施いたしました。 なお、令和3年度においては、各施設の定員数に応じた補助を予定しております。	児童保育課
5	古屋 道明 委員	9	老人施設だけでなく保育施設のスタッフにもPCR検査を行ってほしい。	PCR検査の受診につきましては、医療関係や高齢施設など他の職種との関係や費用の問題など、様々な課題がございますので、今後国や都、他自治体の動向を注視して参ります。	児童保育課
6	古屋 道明 委員	10	保育士確保のために2月ではなく、年内にもある程度の入園予定人数を園に通知してほしい。	保育所別の入所人数については、入所申請の受付締め切り後、内容の精査等を行わないと算出することができません。希望園変更・追加の締切日が年度末であるため、年度内または、年明けに入園予定人数を通知することは難しい状況であります。	児童保育課
7	中村 真理子 委員	11	具体的な結果内容をHPに公表して頂きたいです。非常に有益な情報かと思えます。ご検討ください。 (小中学校のように見つけれませんでした。)	点検結果につきましては、ホームページでの公表を予定しております。現在、掲載内容を精査しているところであり、早急に掲載して参ります。	児童保育課

他委員は意見なし・了承の確認済み